

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1 施工体制	① 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 監督段階における「施工プロセス」チェック表のうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前(当初・変更毎)に速やかに提出している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 現場の施工体制が確立されている。 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体系図(現場組織表)に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> 建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、緊急連絡表などを公衆に見えやすい場所に掲げ施工計画書及び現場と一致している。 <input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 工場製作において技術者の配置及び製作体制が確立されている。 <input type="checkbox"/> 橋桁、樋門、機械設備、電気設備等の工場製作において、社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)				<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……… d <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば……… e
	② 配置技術者 (現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 監督段階における「施工プロセス」チェック表のうち、配置技術者について指示事項が無い。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 書面整理、資料整理が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 現場代理人及び主任技術者が、工事全体を把握し適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 監督員への報告・協議など、適時及び的確に書面で行っている。 <input type="checkbox"/> 人的現場条件の変更対応また地元調整などを主体的に行った。 <input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸法令等に基づき適切に作成し整理している。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、施工に関する指示を行っている。 <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)				<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば……… d <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば……… e
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満…… b 該当項目が 60% 以上 80% 未満…… c 該当項目が 60% 未満…………… d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2 施工状況	① 施工管理	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 監督段階における「施工プロセス」チェック表のうち、施工管理について指示事項が無い。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなり速やかに提出している。(当初・変更・追加) <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 物的現場条件の変化に対し適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 品質に影響が無いように工事材料・機器類を保管している。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 使用材料、機器類の品質証明書及び写真等を整理している。 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="checkbox"/> 材料確認を適時書面的に行っている。 <input type="checkbox"/> 段階確認を適時書面的に行っている。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、排出ガス対策型また必要に応じ低騒音型・低振動型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> 監督員の指導に対し、真摯に対応した。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: 該当項目が 90% 以上..... a ① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 該当項目が 80% 以上 90% 未満..... b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 該当項目が 60% 以上 80% 未満..... c ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() 該当項目が 60% 未満..... d ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば..... d <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば..... e
	② 工程管理	<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 監督段階における「施工プロセス」チェック表のうち、工程管理について指示事項が無い。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 契約日より30日以内に準備工事に着手している。(工事開始日の指定がある場合は指定日より) <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及び必要に応じフォローアップを行い、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約条件への対応が適切であり、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための施工方法等工夫を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 履行報告書を提出している。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事と積極的に工程調整を行い遅れない。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 工期の制約を受ける工事において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 監督員の指導に対し、真摯に対応した。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: 該当項目が 90% 以上..... a ① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 該当項目が 80% 以上 90% 未満..... b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 該当項目が 60% 以上 80% 未満..... c ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() 該当項目が 60% 未満..... d ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば..... d <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば..... e

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2 施工状況	③ 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 監督段階における「施工プロセス」チェック表のうち、安全対策について指示事項が無い。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を1回/月以上行い、記録・写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY、新規入場者教育を実施し、記録・写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映し、記録・写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施し、記録・写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 過積載防止の取り組みを実施し、記録・写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を各種基準及び関係者間の協議に基づき実施し、写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作の安全を確保している。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備をチェックリスト等を用いて実施し、記録・写真が整備されている。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 作業員休憩所設置等、作業環境の改善に努めている。 <input type="checkbox"/> 監督員の指導に対し、真摯に対応した。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)					<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば…… d <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば…… e
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満…… b 該当項目が 60% 以上 80% 未満…… c 該当項目が 60% 未満…………… d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				
	④ 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である	
		<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 監督段階における「施工プロセス」チェック表のうち、対外関係について指示事項が無い。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> 関係官公庁・民間事業者と事前調整を行い、施工時にトラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元への事前周知及び事前調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地域住民や通行者等に工事説明文等により工事の目的及び内容を、分かりやすく広く周知している。 <input type="checkbox"/> 歩行者・通行車両を優先させて施工し、児童の通学や家屋への出入りに特段の配慮をしている。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して誠実な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)					<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば…… d <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば…… e
		該当項目が 90% 以上…………… a 該当項目が 80% 以上 90% 未満…… b 該当項目が 60% 以上 80% 未満…… c 該当項目が 60% 未満…………… d	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値() = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

審査項目	細別	工夫事項	その他(項目記載)
5 創意工夫	① 創意工夫	<p>■施工</p> <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具, 工具, 装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 土工, 地盤改良, 橋梁架設, 舗装, コンクリート打設等の施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止, 配管のつなぎ等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 仮排水, 仮設道路, 迂回路, 案内看板等の計画的な実施に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 運搬車両, 施工機械等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 支保工, 型枠工, 足場工, 仮架橋, 覆工板, 山留め等の仮設工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固度, 杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の作成, 写真の管理等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測, 集計, 管理図等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工管理ソフト, 土量管理システム等の活用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ICT(情報通信技術)を活用した情報化施工を取り入れた工事。 <input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。 <input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:) <p>■新技術活用</p> <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち試行技術を活用し, 活用効果調査表を提出している。 <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち活用した試行技術が「少実績優良技術」である場合。 <input type="checkbox"/> NETIS評価情報技術のうち「少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」を活用し, 活用効果調査表を提出している。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:) ※新技術の活用に関する上記3項目での加点は最大2点とする。	
		<p>■品質</p> <input type="checkbox"/> 土工, 設備, 電気の品質向上に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリートの材料, 打設, 養生に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 鉄筋, PCケーブル, コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 配筋, 溶接作業等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)	
		<p>■安全衛生</p> <input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 <input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物, 墜落・転落, 挟まれ, 看板, 立入禁止柵, 手摺り, 足場等) <input type="checkbox"/> 安全教育, 技術向上講習会, 安全パトロール等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 現場事務所, 労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。 <input type="checkbox"/> その他 (理由:)	

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

審査項目	細別	工夫事項		その他(項目記載)
5 創意工夫	① 創意工夫	<input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 (理由:) <input type="checkbox"/> その他 (理由:)		
記述評価 (レマークを付した評価内容を 詳細記述)		評点: _____ 点	【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載	

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1点で評価し、該当する数と重みを勘案して、最大6点の加点評価とする。

※3. 上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、検査員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

[記入方法] 該当する項目の□に レマークを記入する

[総括(主任)監督員]

考査項目	細別	総合評価方式における価格以外のその他の条件に係る評価内容の担保一覧		
8 法令遵守等	II 評価内容の担保	履 行 状 況		点 数
		<input type="checkbox"/>	施工計画の実施手順 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	工期設定の適切性 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	施工上の課題への対応の適切性 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	品質の確認方法, 管理方法の適切性 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	主任(監理)技術者の保有する資格 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	主任(監理)技術者の保有する専門資格 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	主任(監理)技術者の保有する専門資格 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	過去の工事成績3件の平均点 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	過去の主任(監理)技術者の同種・同規模工事の施工経験の有無 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	施工経験工事の従事役職 (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	継続教育(CPD)の取組み (理由:)	-5 点
		<input type="checkbox"/>	その他 (理由:)	
<input type="checkbox"/>	該当なし			
		<p>本評価項目で評価する事例は、「総合評価方式で発注した工事の施工にあたり、価格以外のその他の条件に係る評価内容に対し、次の適応事例があった」場合に適用する。ただし、請負者の責によらないものを除く。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「工事の手順が適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとして手順で工事を実施しなかった場合 2. 「各工程の工期が適切で、工夫があり、工期短縮が見られる」と評価した工事について、工夫するとして施工計画を実施しなかった場合。または、実施したが工期を短縮できなかった場合 3. 「課題への対応が現地の環境条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとして課題への対応を実施しなかった場合 4. 「品質の確認方法、管理方法が環境条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる」と評価した工事について、工夫するとして品質の確認方法、管理方法を実施しなかった場合、主任(監理)技術者の保有する資格、専門資格、過去の工事成績、過去の同種・同規模工事の施工経験、経験工事の従事役職、継続教育(CPD)の取組み等の各評価内容について評価した工事において、評価した配置予定技術者と異なる技術者を配置した場合で、当該技術者の各得点が配置予定技術者の得点を下回る評価内容がある場合 		
評価	<p>評点: 点</p> <p>※ ・総合評価方式における価格以外の条件に関して、請負者の責により、評価の内容が満足されなかった場合、減点評価する。 ・1項目-5点とし、減点の範囲(下限値)は設けない。</p>			